



長寿を祝い

にぎやかな笑いで楽しい一日

町では、長年にわたって社会に貢献された、満70歳以上1,844人の長寿を祝って、各地区ごとに敬老式が行われました。

婦人会では、手踊りや歌で敬老者の労をねぎらいました。参加者は正装に身を包み、料理や酒のもてなしを受けながら、にぎやかな話し声と笑いで楽しい一日を過ごしていました。

(健康増進センターの完成で初の三部落合同の敬老式…七座地区)

人口と世帯数 (住民基本台帳による)

8月31日現在	(前月比)
総人口 25,507人	(6人増)
男 12,448人	(4人増)
女 13,059人	(2人増)
世帯数 7,187世帯	(6世帯増)

九月定例町議会 出川町長行政報告



台風の被害は五億六千万円

去る八月二十三日の台風十五号は、瞬間最大風速四十二メートル、前後三日間の降雨量は二百六十六ミリと記録的暴風雨となり、土木、農業関係のほか、建物の損壊、樹林木の倒伏、幹折れなど大きな被害となりました。

厚生関係では、非住家、一般公共建物を含め、全壊十六棟、半壊一棟、一部破損百九棟、床下浸水十五棟、計百四十一棟となり、土木関係では県関係も含め三十五カ所（道路十四カ所、河川二十一カ所）、農業関係では九十カ所（農地四十カ所、施設五十カ所）、冠水百六十二町のほか林道三カ所、文教関係の一部破損十棟等、被害総額は五億六千万円程度と見込まれております。

米作は障害型

不稔の予想

今年の水稲は、五月から六月にかけての低温によって、初期生育が大幅に遅れたが、七月から八月初めにかけ高温多照の日が続き、草丈はかなり回復し、一時は平年作に近



い収量を期待したが、分けつの遅れがたつて莖数は平年をかなり下回り、徒長軟弱ぎみの「長草小茎型」となり、八月十五日現在の発表では指数九四・九〇の不良ということでしたが、八月二十三日の台風に加え、長雨と低温により各所に倒伏も見られ、悪天候が続くと障害型不稔も予想されております。

七月末日現在でとりまとめた転作等確認面積は、全農協とも目標を上回り、町全体では五百二十九町と、目標面積四百九十六町に対し一〇・七％の達成率となり、第二回目の確認を実施中であります。態様別では転作が九七％を占め、農協等への預託が三％となっております。

作物別にみると、大豆、飼料作物、麦、そば等の特定作物が四百五十三町で八八％を占め、そらが三十一町の六％、一般作物が三十町の六％の順となっています。

なお、振興作物としての「セリ」は、当初計画八町に対し十三町となりました。

奨励金の概算（二分の一）一億三千二百四十五万四千円は、八月十一日全農家に支払いを完了しております。

また、五十六年産米の限度数量十八万七千九百七十九俵は、各農家に配分済みであります。買入代金概算支払金

五十六年九月定例町議会は、九月十四日から二十四日まで十一日間の会期で開かれました。

議会は、十四日に町長の行政報告と提出議案に対する大綱質疑が行われたあと各委員会に付託。十六・十七の両日に一般質問、十八日から二十一日まで付託案件に対する各常任委員会が開かれ、二十四日に本会議を開いて閉会しました。

九月定例町議会で、出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。（なお、決定した議案については十月十五日付け広報で報告します）

五億五千三百三十九万三千円についても、七月二日に支払いを完了しました。

緑ヶ丘地区に 担い手センター建設

地域農政特別対策事業の緑ヶ丘担い手センター（二百二十六・四平方町）は、県との協議も終了したので今回の補

正予算に計上してあり、正式認定ありしだい発注の予定であります。

五十六年六月二十二、二十三日の豪雨により発生した農業災害は四十七カ所（農地十一カ所、施設三十一カ所）で、被害申請額五千四百二十六万六千円に対し、四千四百三十六万八千円の査定額でありました。

林業構造改善事業としての林道柵木沿線は、前年度より継続事業として本年度分千二百五十町（幅員四町）を、四千九百万円で発注し工事中であり、沢口林業センターについては建築面積六百三十六・八〇八平方町を、六千五百九十八万円で二カ年継続事業として一括発注し、本年度分三千九百九十三万千円を工事中であります。

入会林野整備事業では、小森地区百六十町、四渡地区八町、松沢地区六十二町、川口地区九町、計二百三十九町を

完了しました。

造林事業については、町有林四十二畝、町行林二百二十六畝の下刈事業も終え、栗の植栽地の整備もできたので、九月中に植栽を完了の予定です。

農協合併の推進については、第一回目の組合長会議を去る三月二十七日に開きましたが、その後役員改選等を待つて第二回目を八月二十七日に開催しました。十一月上旬頃、農林事務所、中央会の参加も得て、役員ならびに参事級の勉強会を予定しております。

交通安全 交通安全については、関係者あがての運動にもかかわらず、予想以上に多発しており、昨年を上廻る

九月七日現在の事故件数二百九件（前年同期百八十七件）のうち、人身事故五十件（四十四件）、物損事故百五十九件（百四十三件）、死者二人（〇人）、傷者六十九人（五十四人）となっており、前年よりそれぞれ一・二％から二七・八％も増えております。

本年度の敬老式は、九月十日の青山荘をはじめとして、二十二日まで八カ所で行われます。

対象者は、満七十歳以上・千八百四十四人で、前年度よ



り九十二人（五・三％）多くなっており、そのうち八十八歳以上は四十二人となっております。

国保の無傷病は 本年度も七月一日より九月二十五日までの間、胃集団検

年間に二百世帯 診は四十三カ所、結核検診は二十三日所を計画して実施中でありましたが、保健指導員の協力や未受診者に対する直接通知等により関心も高まり、胃の検診について最終的には前年比一五・〇％程度の増加が予想されております。

国民健康保険関係 五十五年度中の無傷病状況は、三千六百六十六世帯、一万八八百九人中、一年間該当者は二百世帯三百一十一人、五カ年該当者は六世帯八人となっております。

消費者物価指数 七月の秋田県消費者物価指数は、五十年を一〇〇として

は一四七・六％ 総合で一四八・四となっており、前年同月比五・七％の上昇となっており、当町では総合で一四七・六となり、前年同月比四・二％の上昇にとどまっております。

しかし費目別では、全県の被服一三八・二に対しマイナス七・六、食料一三九・三に対しプラス三・七、住居一四四・四に対しプラス四・六となっております。

株式会社鷹巣阿仁総合卸売市場（代表取締役・三国高教）に対する貸付予定用地については、県より七月三十一日付で農振地域の除外について異議のない旨の通知があったので、現在告示中であり、都市計画法に基づく開発行為の許可申請書を準備中であります。

なお、建物の名称を「鷹巣阿仁総合集荷センター」と改名する届出がありました。

住居表示は 建設関係では、八月末日までに、一般建設関係で二億五

千五百六十九千円（予算対比五〇・七％）、公共土木施設

災害復旧関係で三千六百五十五万七千円（予算対比二四・五％）を発注しましたが、ほとんど完成しています。

都市計画関係は、目下中央公園園路の整備工事が行われておりますが中併都市下水路工事は稲刈後発注いたします。新田中の公営住宅は、工事費七千四百二十二万円で、六



月以來工事中であります。現在の進捗率は六五％程度で、今後は付帯工事として道路舗装排水物置等を予定しております。

住居表示事業については、十月一日からの実施を予定し、表示板の取付、説明書の配布、関係諸機関に対する手続き、諸帳簿の書替等をすすめており、知事の告示を待つのみとなっております。

国道一〇五号線鷹巣バイパスの決定とともに見直しをすすめてきた鷹巣都市計画道路も、去る八月二十九日の都市計画審議会の答申を得て町の原案が決定し、県と協議中であります。

災害関係は、本年度にはいつてから、春の融雪災害より台風十五号による被災まで五十八件被害見込額一億九千九百七十万円となっており、今後の天候により更に増えることと思われま。復旧工事は五十四年災十一カ所、五十五年災三十四カ所、五十六年災二十八カ所、計七十三カ所の発注を予定しています。

鷹小グラウンド の用地交渉中

学校営繕については、南小、西小の屋根補修、東小のアルミサッシ取付、竜小の内壁塗装、鷹中、南中合わせて十一教室の補修塗装工事等二千二百八十九万八千円をもって夏休み中に完了しました。

また、台風十五号による屋根の修復工事もちちに行いました。

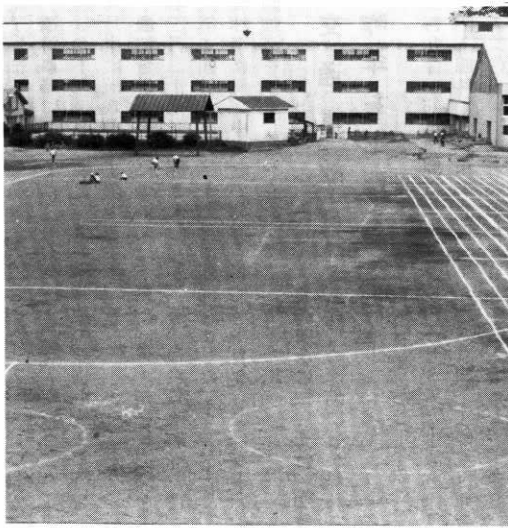
鷹巣小学校用地については、グラウンド用地として約一・三畝について目下交渉中であります。

学校給食については、二学期から従来の弁当持参（火、木曜日）を廃止し、委託炊飯（竜森小のみ自校炊飯）による米飯給食を実施しております。

なお、米飯は、町内の武藤製パン工場から温食缶により各校へ配送されております。

昭和五十六年度成人式は、中央公民館において去る八月十五日、該当者三百七十三人のうち三百五十人の出席を得て開催されましたが、県外からの参加者は百人に近い数でありました。

第十九回町民体育祭は、八月三十日を予定していましたが、荒天のため延期し、十月十日の「体育の日」に実施することになりました。



七座簡水に ろ過装置を導入

上水道事業については、維持管理の強化を図るため午後十時以降、全域の洗浄作業および配水本管からの漏水点検と、高圧電力の事故防止等のため装備の総点検を実施しました。

加入状況については、本年度新規目標百件に対し八月末までに五十四件の実績となっております。

綴子簡易水道事業については、二カ年継続の改造工事も七月三十日竣工となり、また、各戸給水装置の切替工事も八月下旬をもって完了の運びとなりました。

坊沢簡易水道事業については、浄水場嵩上及び場内舗装工事を完了しており、七座地区についても、将来の水質保全を考慮しろ過装置を導入し施設の強化を図ります。

なお、簡易水道事業維持管理費も年々高騰し、更に起債の償還等現行料金での事業運営は困難な状況にあるため料金改正をおねがいするしだいでありました。

大野台開発で 三企業誘致

大野台に三つの企業誘致が、ほぼまわりました。東洋精箔株式会社は銅箔、ステンレス、アルミ合金箔を生産する会社

で、国内はもとより、アメリカ、スイス、中国、香港等年間一億円の輸出実績をもっており、従業員は男子百十人、女子二十人を予定しております。

一方扶桑精工株式会社は、ガラス器械の鋳物金型、自動成形機をつくる会社で、韓国、フィリピン、インドネシア等年間十億円の輸出実績をもっており、従業員は男子百名、女子十人程度で、現在基幹要員を養成中で両社とも六十年操業の予定であります。

三番目の企業は高橋電機株式会社（長野県岡谷市）が、今年十二月より大野台電機株式会社として操業を計画しており、当初は四十人程度の従業員で発足し、五十九年には二百人の雇用を予定しております。

この会社は、自動制ぎよ装置専門メーカーで、国内の市場占有率は三〇%を占めており、アメリカや東南アジア向け輸出も年々拡大しております。

以上三社あわせて、将来の雇用力は四百四十人となる見込みであります。

第13回

町文化祭 作品募集

十一月三日の文化の日を中心に鷹巣町文化祭が開かれます。

これに先立って広く町民の芸術、文化関係作品を募集します。多数応募くださるようお知らせいたします。

受付け、各種問い合わせは、

社会教育課（電話②一一一）
一一 内線二六四）または、
中央公民館（電話②一一一三〇）へ

◆文化作文

題は自由です。対象は小・中・高・一般の四部門。原稿用紙は五枚程度。
特選は開会式で朗読発表。
受付けは十月二十日まで。

◆絵画展

（10月24日～26日）
作品は油絵、水彩、版画、日本画、クレヨンなど。寸法は制限なし、一人一点まで。
受付けと搬入は十月二十一日まで、搬出は十月二十七日。

◆書道展、写真展・日本画展
（11月1日～3日）

大きさは特に制限なし。表装・仮巻・台紙・額縁を完備してください。一人二点まで。

受付けと搬入は十月二十八日まで、搬出は十一月三日午後三時から。

◆創作工夫展

（11月1日～3日）
リフォーム、発明工夫、和洋裁、陶芸、七宝焼、手芸、観賞菊、彫刻、床の間置物品、名石、その他。

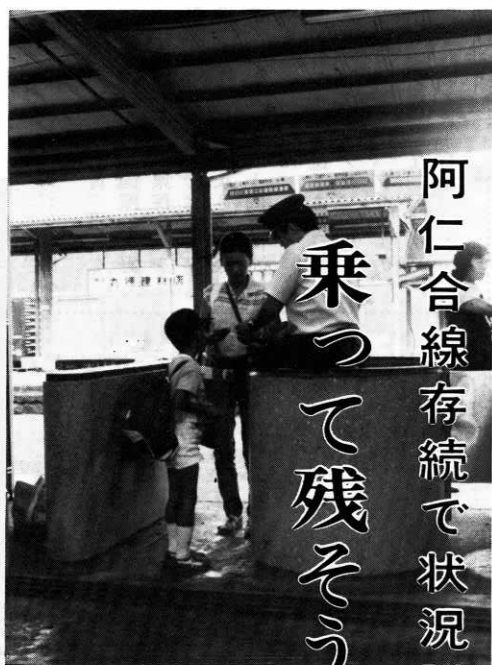
◆のど自慢大会
（11月3日午後三時～五時）

民謡、歌謡など、カラオケも可（テープ、レコード持参）先着二十名。小・中・高生は除く。

申し込みは十月二十八日まで。

◆芸能祭

（11月1日午前十時～正午）
バレエ、民舞、日舞など。小・中・高生は除く。
申し込みは十月二十八日まで。



阿仁合線 存続で状況説明会

乗って残そう 阿仁合線

町では九月五日午後一時から役場三階大会議室で、「阿仁合線存続についての状況説明会」を開催。町内の商工関係者や地区労、青年・婦人団体から五十人あまりが参加して、存続について活発な意見がかわされました。

会議では冒頭、出川町長が「阿仁合線は地域開発や過疎防止、地域の交通体系、省エネルギーの観点から存続が望まれる」とあいさつ。畠山助役から鷹角線の工事概要、特定地方線の選定基準、知事意見要旨などの説明を行いました。

阿仁合線は、昭和十一年九月に鷹巣から阿仁合まで開業され、旅客の輸送はもちろんですが、鉱石、木材などの資物輸送に欠くことのできない交通機関として親しまれてきました。

昭和三十八年十月には、阿仁合線と角館線を結ぶ鷹角線の全線開通にともなう部分営業で、比立内まで延長し営業開始されました。

その後、鷹角線の工事は五十五年度まで百四億円余りを投じて、着々と整備され、未着工区間は五七〇のみとなっているが、赤字をかかえている国鉄では、日本国有鉄道経営再建促進特別措置法に基づいて、営業収支係数が高く、利用率の低い路線を廃止する特定地方交通線の選定を行うことになりました。

選定基準として一日の輸送密度が四十人未満の営業線を対象とするもので角館線（二百八十四人／日）と阿仁合線（千五百二十五人／日）が該当になります。すでに昭和五十七年度まで廃止する第一次選定に角館線が、六十

年度の第二次選定に阿仁合線が入るなど、沿線住民はもとより、県民の願いである全線開通と両線の存続が危ぶまれています。

県知事は、赤字ローカル路線ごとに部会を開き、意見を集約して八月十八日に運輸省に対し①角館、鷹巣を結ぶ鷹角線の部分開業路線であり、新線建設部分も含めた全体路線として想定される旅客輸送密度を算定すべき。②鷹角線が全線開通されると、県北、南部、

更には東北新幹線盛岡駅との短絡路線となると同時に、阿仁・田沢地域の過疎化を防ぎ、将来は産業、観光開発の可能性を拡大する。③国道一〇五号線は、冬期積雪時に二車線確保に必要な幅員五・五メートル確保できないので、交通渋滞を招く恐れがある。……などの「知事意見書」を提出して両線の存続を訴えています。

会議に出席された方々からは、「鷹角線開通は、町民はもちろん沿線住民も盛岡までの短絡として望むものである。また広域圏の産業、経済・教育文化などを効果を高めるために阿仁合線の存続を関係機関で働きかけてほしい」という声が圧倒的でした。

▽利用者の増加をはかるため①本線との接続をよくしてほしい。②米内沢止まりの列車を比立内までダイヤ改正してほしい。③車輛を少なくしても本数を増やしてほしい。④列車は車より遅いのでスピードアップしてほしい……など。▽存続については①看板をたててアピールすべきだ。②利用増をはかるため、プロジェクトチームをつくってほしい。③角館側と一体となって運動を展開すべき。③存続第一で、第三セクターをあまり前面にださないでほしい。……など存続を望む具体的な意見が多くされました。

四十五年の歴史を誇る阿仁合線は、わたしたちの生活から切り離すことのできない交通機関です。通勤、通労はもとより多くの人が利用して存続運動を展開してほしいものです。

町長日誌

9月1日～9月15日

- 3日 財産区会長連絡会議
- 4日 生涯教育奨励員研修会
- 4日 社会保険事務所オンラインシステム開通式
- 5日 阿仁合線存続についての状況説明会
- 6日 田中部落運動会
- 7日 綴子簡易水道改良工事竣工式
- 8日 大野台縦断農道事業竣工式
- 9日 県少年保護育成委員会県北地区連絡協議会
- 11日 坊沢財産区委員会
- 12日 四者交流研究集会
- 14日 九月定例町議会
- 15日 綴子地区敬老式
- 七座地区敬老式

覚せい剤をみんなで追放



今年七月末までの県内における覚せい剤事犯の検挙は、八十七件五十一人に達し、昨年の一・二％となっておりです。

覚せい剤は、▽暴力団の資金源になる。▽中毒のため幻覚症状がでて、殺人事件等の重大事件を起こす……などの被害があることから、法律で覚せい剤の売買や所持、使用などを厳しく禁止しています。

このようなことから、▽覚せい剤には絶対手を出さない。▽覚せい剤を欲しがっている人、覚せい剤を売ったり、使用している人を知った時は、早く警察に知らせてください。覚せい剤の汚染をなくすため皆さんのご協力を特にお願いします。

ヨロシイ! 歴訪の方

海外研修レポート



西ドイツのユースセンター

も行われました。青年婦人達との意見交流では、何を聞いても同じような答が返ってくるので、物足りなさを感じ残念でした。

スウェーデン

次の訪問国スウェーデンは、高福祉、高負担の国です。給料の五〇％が税金として差し引かれ、累進課税制度なので一〇〇％に近い課税もあるとのことでした。

ここでは老人ホームを訪問しました。スウェーデンは、一〇〇％が核家族です。年老人は子どものもとを離れ、老人ホームへ行きます。たしかに老後の生活は保障され、見るからに裕福そうでしたが、何かしらひどく淋しいものを感じながら、孫を見るかのように私達の訪問を喜んでくれたおじいさん、おばあさん達の姿が印象的でした。

西ドイツ

初めての海外への旅。不安と複雑な思いをいだいて、八月二十七日成田を立ちました。上空から見る初めての富士山。どっしりとした感じが、日本人である私をうれしくさせました。

ソ連

最初の訪問国ソ連の首都モスクワは、非常に暗く陰気な印象を受けました。空港に降りてまっ先に感じた圧迫感、いったい何だったろうかと思えます。

ここでは日ソ友好協会主催の交流会がもたれ、秋田杉の記念植樹

フランス

最後の訪問国フランス。団員の誰もが期待に胸を弾ませて足を踏み入れたパリ。以外に小さな町で、町全体が観光地のようなようでした。

ファッションばかりでなく、建物、ネオン、広告一枚にも美や調和が十分に考慮されていて、非常に強い感銘を受けました。しかし反面、盗難が多く、特に日本女性性は九九％ねらわれているのが現状で、治安の面では少し不安を感じるものがありました。

心の触れ合い

出発にあたって心配であった言葉は、片言の英語とその国のあいさつ程度を知っていれば、後はどうにか通じるものだと思えました。

た。私はそこに、人間としての本当の心の触れ合いをかいま見た思いでした。

ドイツのホテルで病人がでた時、従業員のおばさんは私の身ぶり手ぶりの話を、しっかりと笑顔で受けとめてくれました。風習、言語、思想の違いを越えて、民衆レベルでのこうした交流がいかに大切であるか、また誤解を理解へと変える最短距離であると、私は感じました。

二週間のこの貴重な体験を、今後の地域活動の中でしっかりと根をはらせていきたいと思えます。できることならもう一度行ってみたい。私をこのように思いにくれた研修に、心の底から感謝します。



聖バジリ寺院（モスクワ）

海外の経済、教育、福祉などの文化に接し、国際的視野に立った活力ある県民文化を創造するため、県では「青年婦人海外研修」を八月二十六日から九月八日（十四日間）まで実施しました。

当町から本田悦子さん（松葉町）が参加。ソ連、西ドイツ、スウェーデン、フランスの四カ国を歴訪して、研修の成果を収めてきました。

県民スポーツ大会

柔道は念願の初優勝

第十一回県民スポーツ大会は九月五日から二十一日までの土・日曜日に秋田市で行なわれました。当町からはバスケットボール・剣道など八種目に長崎佐太吉団長以下百三十二人が参加。各種目での活躍がめだちました。

柔道は、交歓大会で覇を競っている宿敵五城目町を一一〇で破って初優勝を飾りました。陸上では男子四百リレーで三連勝したほか、宮腰正樹、津谷徳男、畠田富士子の各選手が一位となりました。三位までの入賞は次のとおり。

〔柔道〕優勝（桜庭唯徳、横山和樹、永井一直、松野俊秀、佐藤春雄）
〔庭球〕Aブロック三位（千葉久雄、沢田修一、藤島和政、本城谷豊、沢田昌英、畠山勇悦）
〔陸上〕男子：▽A百リ③佐藤要11秒9 ▽A二百リ③佐藤明52秒9 ▽A四百リ②工藤正樹15分43秒3 ▽A走り幅跳び③村上敏広6リ45 ▽B百リ③桐越一英12秒8 ▽B砲丸投げ①津谷徳男10リ08 ▽C千五百リ①鈴木一弘4分31秒8 ▽D八百リ③三沢実2分30秒7 ▽四百リ③三沢実2分30秒7 ▽四百リ③三沢実2分30秒7
女子：▽A二百リ②佐藤礼子

31秒4 ▽B六十リ①畠田富士子9秒3 ▽B砲丸投げ②佐藤久美子8リ50 ③花田光子8リ30 ▽四百リ③鷹巣町（佐藤礼子、畠山政子、畠田富士子、福田ひろみ）58秒0 ※Aは20代、Bは30代、Cは40代、Dは50代

行政相談週間

行政管理庁では、行政相談制度についてご理解と認識を深めていただくため、十月十一日（日）から十七日（土）までを「行政相談週間」と定め、みなさまの積極的な行政に対する苦情、要望を受けます。

相談の内容は、交通安全、公害、登記、生活保護、年金、恩給、農地、郵便、その他どんな小さなことでも気軽に相談ください。

当地域担当の松葉町・石岡喜正行政相談委員（電話一四二四一三）が相談に応じます。

特産品デザイン 開発コンクール

県の特産品について、優れたデザインを広く一般から募集し、新

商品の開発と特産品の拡大を図るとともに、県民の商品デザインに対する理解と認識を深めるため、第一回秋田県特産品デザイン開発コンクールを実施します。

部門は、▽観光土産品（人形、玩具、装飾品） ▽民芸品（家具を除く木材工芸品） ▽食料品（酒類を含む） ▽金属工芸品 ▽陶器 ▽前記各部門のバツケーデザイン

募集期間は、十一月二十日まで。作品は、秋田市山王四丁目一番一 秋田県観光物産課あて提出してください（現物の搬入は、十一月二十日から二十七日まで）。

くわしいお問い合わせも、同課へ。応募は、個人、企業およびグループを問いません。

秋田県職場

総合美術展

十一月七日から県立美術館で開かれる、秋田県職場総合美術展への出品を受け付けています。

出品資格は、県内の事業所に勤務する勤労者（アマチュア）で、未発表のものに限ります。

種目は、日本画、洋画、書道、写真、彫塑、工芸、商業デザイン。出品を希望される方は、十月二十七日までに、秋田市山王四丁目一番一、商工労働部労働課（電話、秋田六〇一七二六）あて申し込みください。搬入等くわしいお問い合わせも同課へ。

なお、今回は三十周年を記念して、秋田市のほか横手市、大館市、

角館町でも展示されることになっています。

「あきたの文芸」

作品の募集

県内から広く文芸作品を募集して、優秀作品を「あきたの文芸」に掲載し、県民の創作意欲の高揚と文芸活動の普及振興をはかるものです。ふろってご応募ください。

▽応募資格 県内に在住者で満二十歳以上の方

▽募集作品 短歌、俳句、川柳、小説、評論

▽申し込み 十月二十五日まで、町中央公民館あて。

くわしくは鷹巣中央公民館へ

南鷹巣・沢口の一部

水道メーター取り替え

町では、これまで備え付けていた水道メーターの老朽にともない、つぎの日程によりメーターの取り替え作業を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

▽作業期間 10月5日～11月14日
▽実施区域 南鷹巣、陣場岱、舟場、堂ヶ岱、高村岱

※取り替え費用は、町で負担します。

消防設備士試験

昭和五十六年度消防設備士試験を十一月六日、秋田県庁正庁ほか

カギかけは家族みんなの合言葉

＝全国防犯運動＝

10月11日～20日

- 侵入盗の防止……戸締まり確認と、隣りへの声かけ運動
- 金融機関強盗事件の未然防止……不審者、車輛の早期通報
- 自転車盗の防止……防犯登録、記名運動、施錠は完全に
- 少年非行の防止……有害な環境を追放、子供にひと声かけよう

二会場で実施します。

試験は、甲種が午前九時半から、乙種が午後一時半からとなっております。会場は受験票で指定します。

受験ご希望の方は、十月五日から十四日まで、秋田市山王四丁目一番一 秋田県生活環境部消防防災課あて提出してください。

受験願書は、鷹巣阿仁広域消防本部にあります。（電話二二一九）

公民館のつづき

「鷹巣町の社会教育を参考に…」と、他県からの視察団が相次いでいます。

望まれる若妻層との協力

花巻市婦人会の代表十三人が、台風一過の八月二十五日来訪し、当町の婦団連代表と研修、交流を行いました。

研修内容は……

●各種の婦人団体には、それぞれ目的はあるが、婦人として運動を起す時の協力体制が必要であり、その連合組織が望まれる（鷹巣町では、昨年農協婦人部、商工婦人部、婦人会、更生保護婦人会、生活改善実行グループ、母子福祉会若妻連絡協議会等で、鷹巣町婦人

団体連絡協議会を結成している）

●各種婦人団体、特に婦人会の年齢構成が高く、若妻層の人数が少いので、積極的な協力が望まれる。

●研修後、町内の施設を見学し、「さすが、スポーツと文化の町。来てよかった」と、町長を先頭にした鷹巣住民の姿勢に感嘆しきりでした。

町づくりは成人の使命

同じ岩手県の胆沢町からは、部

学級紹介

七日市若妻学級

八年目を迎えた七日市若妻学級ですが、その間、二度程「充電」の時期がありました。一度は、会長交替で、新しい会長が決まらなかった時、もう一度は、会員が減って「開店休業」の状態になった時です。そのつど、危機を乗り越えてきましたが、その支えになったのは、「同じ年代の人が、集まって何か話し合いたい」という、おさえ切れない「心の渇き」でした。現在は、十六名の会員ですが家庭的なふんいきの中にも、今しなければダメになる」という学習意欲も旺盛です。

落公民館長十三人が「町づくりのための成人の役割」をテーマに、去る九月十一日視察研修に来町しました。物知り顔の成人（聖人）から、精力的な成人（精人）へ。「飛び出せ成人」といったところ。たとえば……

●職場だけの自分から抜け出し、もつと地域、部落の中で活動すべきである。

●部落の決め事はお年寄りに、行事は若い者に、子どもは母親に、※ こうした他県からの研修団の訪問は、当町の社会教育に大きな刺激を与え、交流を通して、相互発展の糧になれば、と期待しています。

特に、健康推進事業（普及所主管）の指定を受けてからは、健康に対する関心度が高く、今年に入ってから、「婦人の健康管理」や「体力テスト」などを取り上げ積極的に活動しています。

先ごろ行われた「婦人病と子どもの応急処置」の学習会では、時間のすぎると忘れて、真剣に語り合い、うなずき合っていました。会員の中に、食堂を経営している人がいて、その二階が集会の場になることが多いのも、何んとなく親しみを感じるムード作りにもなっているようです。

これからも「やっぱり、やめねで、続けるべしや」の気持で、がんばって欲しいと思います。

会長 成田久美子

郷土史年表

(40)

明治時代		西暦	年号	事
大正	時代			
一九一三	大正二	一九一三	明治四五	○三月鷹巣町組合病院焼失す。 ○三月十六日上大野村上杉字金沢御料地に分収契約で植林す（坊沢） ○郡立七日市農林学校が県立となる。 ○五月、七座村黒沢字早稲栗沢、粕木沢、麦沢の共有地を分割することに決める（坊沢） ○七月三日明治天皇崩御、大正天皇践祚 ○九月十三日 御大喪儀のため三日間休校 ○九月 鷹巣小学校では柔道練習のため、ふる場を設け、道場開場式を行った。柔剣道毎週二回猛練習に励んだ。 ○栄字吉ヶ沢、上ノ沢川上ミの原野五十三町歩に三カ年計画で植樹し、この年完成す。 ○この年、天候不順のため大凶作、全県では四十三万石約六四、五〇〇トン）の大減収となる。 ○沢口・七日市が凶作激甚地で五分作米一石二十二円十五銭にはねあがる。 ○六月、綴子下町大火、三十七棟焼失 ○鷹巣では料理屋営業者を字北家後より、宇西塚岱に街路を設け移転させる（現在の松葉町通り） ○沢口小学校増築（四間×五間の教室二つと一間の廊下） ○七月二十六日、鷹巣町読書倶楽部創設・事務所を鷹巣小学校に置く。 ○八月二十一日、内務大臣原敬、大蔵大臣高橋是清、政状視察のため来県す。 ○九月五日、郡立農林高校が県立となる。

(次号へつづく)



少年を明るく健やかに

将来を担う少年を明るく健やかに育てる少年保護育成委員の「県北地区連絡協議会」が9月9日、中央公民館で開かれました。

少年非行は、低年齢化、遊び型の傾向に進みつつある昨今、委員の役割も大きく、会議では110人を超える参加者が身近な体験をもとに発表、意見の交換を行い少年の健全育成を誓っていました。

綴子簡易水道は施設の老朽に伴い、2カ年の継続で全面改良工事を行っていましたが、7月に完成し給水を開始していましたが、このほど地域の受益者が多数参加して集落センターで竣工を祝いました

1日最大給水能力1,400トン、給水人口4,679人で、渇水期には断水の多かった同地区だけに「これで、ひと安心」と喜んでいました。

綴子簡水完成でひと安心



綴子小で相撲場開き

綴子小学校では、屋根つきの相撲場が完成。9月12日に全校児童と父兄多数が集まって、喜びの竣工を祝いました。

相撲場は、子どもたちの体力づくりに役立ててほしいと、PTAが中心となって建立し寄贈したものです。

当日は、竣工式のあと相撲大会が行われ、土俵は豆力士の対戦でにぎわっていました。

鷹巣、合川、森吉の三町を結ぶ大野台縦断農道の竣工式は、来賓多数が参加して9月8日中央公民館で行

われました。

大野台台地は酪農、畑作地帯で、受益面積806ヘクタールと規模も大きく、同農道は中央を南北に縦断しています。総延長10,368メートルを全舗装したもので当町は緑ヶ丘地区の1,263メートルです。

大野台農道が開通



新時代に対応する 自治のあり方を研修

沢口地区自治会長会



沢口地区自治会長会（十三集落参加、中林藤吉郎会長）は八月二十日午前十時から脇神公民館で、第五回部落自治研修会を開いた。テーマは「住みよい集落づくりのために、自治会の組織活動をどうすすめるか」で、藤株自治会長、畠山慎之進氏、小ヶ田自治会長、中島力蔵氏の実践発表を中心に、活発な論議を展開した。

藤株自治会

共同生活の目標を定める

藤株部落は六四戸（中農家五九）水田一〇二ha、畑一四ha、部落有林七〇haで、あすに生きる努力を惜しまず、新しい社会形成への活動をつづける。をスローガンに、つぎの共同生活目標を掲げている。1、生活の合理化、生産の向上

2、人間関係の融和と親睦
3、全戸一致で相互研さん
年間予算約一三〇万円、スポーツ活動や、各グループの学習を援助している。
農機具の共同利用・農閑期における余剰労力の利用方法が現在の検討課題になっている。

小ヶ田自治会

社教・文化活動が盛んで

部落会館がせまい

小ヶ田部落は三四戸（中農家三二）水田八〇ha、共有山林一三ha共有改良草地四六ha
年間部落運営費約一八六万・（二戸当り年三万円徴収・その他）老人クラブ・婦人会・青年会・子供会、スポーツクラブ、若妻会年代別グループの活動が盛んであ

る。現在の課題はつぎのとおり
1、会館がせまいので改築したい
2、耕地を整理し野菜への転作をはかりたい。
3、集落農場化（農機具の高度利用）をすすめたい。
4、阿仁合線存続を強く要望する。

部落運営費

などを論議

話し合いでは、つぎのようなことが話題になった。
1、地域の特産物を生み出すためには時間がかかるので援助がほしい。
2、共有財産の管理と、新加入者の扱いについて
3、部落運営費の実情から、スポーツ活動援助のあり方について
4、学習活動と人集めについて
5、冠婚葬祭の簡素化について
新時代の農業のあり方を

考えてほしい

佐々木知事が助言

ちようどこの日は、県知事の鷹巣町訪問の日で、研修会参観してつぎのように助言された。
県の総合発展計画遂行には、行政と住民の役割分担が必要で、この研究会はまことに意義である。
農業行政の前途はきびしい。転作は一時的なものでなく、秋田県農業は新しい時代に入った。スイカ、メロンなど品質は高く評価されているが、出荷が気まぐれである。その点、農協や経済連の体制強化を期待したい。価格安定策については国、県で考えていきたい。主婦労働をこれ以上大きくしないようにしてほしい。

ふるさと 人物伝 ⑪

なり
成 田 直 衛
な お えい

一八四八—一九一八

昨年九月八日、町内外の多くの有志が金を出し合って、児童公園に成田直衛翁の胸像を建てた。その趣旨は

「鷹巣町を現在の姿に発展させた成田直衛翁のことを未来の担い手である青少年に伝え、愛町の精神を培いたい」というのであった。

直衛は嘉永元年（一八四八）鷹巣村成田良左衛門の次男として生まれ、他家に養子になったが、兄が亡くなったので実家にもどって後を継いだ。

十七歳の時、秋田市の根岸親負の門に入り文学、弓馬、刀剣の術を学び、秋田藩郷士となり、明治元年戊辰の役では扇田で南部藩の兵士と戦ってがらをたて藩



主より刀一振を賜わる。

世は明治の新時代に入るが、時の流れに敏感な彼は、一時妻子と別れ東京に出て福沢諭吉の門に入る。二十六歳の彼は、

「自分は一番年長者で、多くの少年たちと洋学を勉強するのは、くすぐったい気持ちであつたが、新しいことを学ぶ最初の窓口となつた」と、気持を書いている。

その後、法学者細川潤次郎の門に移り、新しい世の政治思想を学び、大いに傾倒する。

新しい制度はできても固まらず混とんたる状態であつた時に、彼は郷里に帰り、村長となり県職員になり、大牧場を経営するなどするが、明治十二年、三十二歳で第一回県議員に当選し初代議長に推される。

そして、鷹巣村に郡役所、県立農林学校、奥羽線の駅を誘致し、明治十四年には明治天皇の東北御巡幸を請願し、自邸を御参行在所にお迎えした。また、衆議院議員に当選すること四回、中央でも大活躍し、秋田鉱山専門学校の誘置や、雄物川改修、船川線敷設運動、県育英会創設などで県発展のために貢献する。

成田重右衛門氏は彼の曾孫である（資料、二階堂善三著「成田直衛翁伝」この本、余分がありますのでご希望の方にはおわけします）

みんなの広場



せいだかあわだちそう

北米原産。高さ1~2.5mになる。空き地によく侵入している。

(理科センター・阿部達雄先生)

体育の日と健康づくり

糠沢 出川 吉弘(37)



十月十日は「体育の日」です。

この日 当町でも町民体育祭、町民駅伝など多彩な行事が予定されており、この祝日にちなんで体育を通しての健康づくりについて考えてみたいと思います。

私が綴子走友会に参加したのは第一回町民駅伝の時からで、今年で十七回目を迎えました。現在三

十八名のメンバーで毎週木曜日を練習日として定め、五城目駅伝など三つの大きな大会に出場しております。また今年始めて「歩こう、走ろう会」が綴子地区に誕生しました。

駅伝や走ることを通して私の得たものは、強い精神力がついたことです。大事な職場では今まで培って来た体力、精神力が存分に生かされていると思います。また、たくさんの方の仲間を得ることが出来ました。お互いが認め合い、理解し合うこと、「和」の大切さを知ったことです。

さて、この町は「体育の町」として全国的に有名ですが、体育と健康との関連性について一人一人がどれだけ関心を示し、認識し、

広報ののり

勇気のシンボル 今年も十月一日から、共同募金が全国的に行われます。

これはコミュニティ・チェストの訳語で、スイスの一牧師が「あたえよ取れよ」と書いた箱を路上

実践しているかということになると大変疑問に思います。

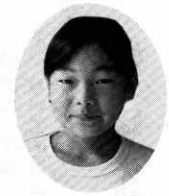
車社会、多様化の時代と言われている中で、年間を通して短時間でもいいから体を鍛えている人達が何%おられるでしょうか。全般的にみると運動不足が決定的だと思います。ストレスの時代を吹き飛ばす意味でも、健康維持、長生きのためにも、適度の運動は極めて重要なことだと思えます。健康の有り難さを、病気になるようになってから初めて知るようであっては大変です。

運動による体力づくり、食生活の問題、心の衛生の問題など、体育の日を契機に自分自身の健康管理をもう一度じっくり考えてみてはいかがでしょうか。

「たすかる、たすかる」といってくれます。毎日、おてつだいをしてお母さんをらくにしてあげたい、と思います。

わたしのお母さん

わたしのお母さんは、山のしごとからかえってくると、田んぼのくすりかけや、畑の草とりをしています。また、ばんごはんのときは、走りながらしたくをします。わたしは、毎日、ふろをたいてつたっています。お母さんは、



竜森小学校3年 橋本 祐美子

たかのす文芸

秋の気配

鷹巣南中学校二年 間測 由美子

風が黄金色の穂をゆらすもどつたり、かえつたり、金の波

朝

胸の中まではいりこむような涼しさ

黄金の穂は露と陽に

きらきらと光る

夜

天空高く響きわたる虫の声

黄金の穂は、青い光の中で

しみじみと耳を傾ける

この空の下

なにもかも

秋に色づいている

に置き、通行人が自発的に金を入れたり、また引き出したりしたことが始まりといわれています。赤い羽根にしたそもその理由は、ヨーロッパやアメリカで昔から正義や勇気の象徴として赤い羽根を頭につけるのを名譽にしておりましたし、特にアメリカ・インディアンは生きているワシから羽

根を抜いて、赤く染めて頭部にさして誇りを現したということです。ロビンフットや三銃士が、帽子に赤い羽根をつけ正義のシンボルにしたことは知られておりましよう。赤い羽根は単に募金をした「印」ではなく、勇気ある正義の士に与えられる「章」であるのです。

おしらせ



一穂美術会委員
九島素二氏

十月の健康相談

十月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十四日と二十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

むし歯予防と家族計画指導は、七日です。

時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

妊婦健康相談は、五日と十九日です。

時間は、午前九時から午後三時

まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。

時間は、午前十時から十一時まで。

※場所は、いずれも鷹巣町中央公民館保険相談室です。

◆

離乳食実習指導は、十五日と十六年三月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◆

乳児健康相談は、十七日と十六年六月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所。

◆

一歳六カ月児健康診査は、一日と五十五年二月、三月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。鷹巣町中央公民館ホールで行いますので、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月（五十二年十月八日から五十四年十月八日）までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は八日、鷹巣地区の方は九日に行います。

妊婦訪問

受付時間は、午後一時から二時半まで。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

十月は、▽二日▽沢口・七日市地区▽九日▽七座・坊沢地区▽二十三日▽綴子地区となっています。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

麻疹（はしか）の

予防接種

麻疹（はしか）の予防接種を、十月二十日から二十三日まで左記のところで行いますので、この期間に接種を受けてください。

今回の対象者は、五十六年十月二十日現在で生後十八カ月から三十六カ月に至る幼児（ただし、生後十二カ月から七十二カ月に至る幼児は受けられます）となっています。

五十七年二月二十二日までに七十二カ月に至る幼児も含まれます。

接種時に必要な接種券の交付を受けていない保護者は、十月一日から十七日まで、役場衛生係へ母子手帳、印鑑を持参しておいでください。

接種時間は、いずれも午後一時から二時まで。

20日▽藤原医院 21日▽奈良医院

院 22日▽としま医院 23日▽北秋中央病院

※接種料金（一人三千七百四十七円）は、全額町で負担します。

※接種する時は、接種券・母子手帳・問診票を忘れずにお持ちください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。

▽末広町▽堀部イヨさんから亡父長松さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽脇神▽畠山正行さんから亡父正三さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽西横町▽佐藤史朗さんから亡父健治さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽舟場▽金沢正男さんから亡母タネさんの香典返し

三〇、〇〇〇円



9月1日～9月15日

誕生おめでとうございます

村上 陽子（正一 二女）掛 泥
九嶋 勇太（哲夫 長男）岩 脇
碓谷 寛（喜寛 長男）摩 当

町県民税第三期の納期限は…10月30日です

おくやみ申しあげます

畠山 正三（60歳）脇 神
宮野 マツ（77歳）下 町
金沢 タネ（67歳）舟 場
木棚木義一（70歳）米代 町
花田 忠夫（54歳）脇 神
佐藤ツルエ（72歳）坊沢 大町
木村 茂（58歳）深 関
小坂 鉄郎（71歳）摩 当
石川 定治（75歳）太平 町
河田 茂八（82歳）あけぼの

二人の前途を祝福いたします

田 村 寿 青森県
成 田 紗百合 摩 当
長 崎 政 美 緑ヶ丘
佐 藤 載 史 藤 株
伊 藤 忠 史 東横町
千 葉 睦 子 新旭町
工 藤 信 夫 中 岱
金 野 鈴 子 二ツ井町
宇 佐 美 豊 あけぼの
立 石 富 子 大館市
福 原 幸 雄 摩 当
田 代 道 子 南鷹巣

佐藤 大介（昇司 長男）与助 岱
藤原 大樹（康 長男）あけぼの
本城真納子（耕一 二女）藤 株
津谷 諭（繁美 二男）羽 立
津谷咲己子（永光 長女）中 岱
泉 孝生（清 長男）藤 株
亀山 豊（忠司 長男）舟 場